

平成30年度鶴見区運営方針(素案)

概要版



鶴見区マスコットキャラクター「つるりっぷ」

大阪市鶴見区役所

鶴見区運営方針とは……

- まちづくりの指針となる「鶴見区将来ヴィジョン」の単年度ごとのアクションプランとなるものです。
- 鶴見区における「施策の選択と集中」の全体像を示す方針として策定しています。
- 鶴見区の課題解決のための取組みについて示しています。



★鶴見区がめざすこと★

つながり、ふれあい、みまもり、支えあう、
誰もが安心して暮らせるまちの実現

★鶴見区の役割★

一人ひとりの人権が尊重され、誰もが自分らしく安心して暮らすことができるやさしさとぬくもりのある地域社会の実現にむけて、区内の実情や特性に即した施策・事業を総合的に展開する。

重点的に取り組む経営課題・戦略・具体的取組



経営課題1

住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり (地域福祉)

- 地域共生社会の実現
- 地域福祉力の向上

予算算定額
32,525千円



経営課題1

住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり (健康づくり)

- 健康づくりへの支援
- 健康増進意識の向上

予算算定額
327千円



経営課題2 子育てとまなびを応援するまちづくり (子育て)

- 安心して子育てできる環境づくり
- 子育て支援の充実

予算算定額
2,077千円



経営課題2 子育てとまなびを応援するまちづくり(まなび)

- 社会教育の支援
 - 生涯学習
 - 人権教育
 - 環境をキーワードにした取組みの推進
- 学校教育の支援
 - 学校教育支援の充実
 - 学校と社会を結ぶ

予算算定額
13,613千円



経営課題3 安全なまちづくり(防災)

- 災害に強いまちづくり
 - 総合的な防災力の強化

予算算定額
4,081千円



経営課題3 安全なまちづくり(防犯・交通安全)

- 街頭犯罪・交通事故の少ないまちづくり
 - 地域・関係機関と連携した防犯対策
 - 地域・関係機関と連携した交通安全対策

予算算定額
7,662千円



経営課題4 区民への必要な情報の発信

- さまざまな媒体を活用した情報発信
 - 広報紙の充実

予算算定額
16,478千円

住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり (地域福祉)

地域共生社会の実現

地域福祉力の向上

- 住民の身近な相談窓口とし、必要に応じて関係機関との連携を図る。
 - 各地域に地域福祉コーディネーター (つなげ隊) を配置
- つなげ隊へのアドバイスやスキルの向上、情報の提供など、総合的な地域福祉推進に係るコーディネートをおこなう。
 - 専門的知識等を有したコミュニティソーシャルワーカーを配置
- 各地域で実施する地域福祉活動への支援
 - 各地域への助成
- 住民同士の助け合い活動の支援、並びに地域資源の発掘、育成を図る。
 - 地域有償ボランティア活動の実施

30年度 業績目標

・地域福祉活動への支援として、ネットワーク委員会や**百歳体操**・サロン事業などの交流の場の充実と事業の継続。(100件以上)

・地域有償ボランティア活動にかかる派遣数増加を目指す。(1,000件以上)



住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり（健康づくり）

健康づくりへの支援

健康増進意識の向上

- 地域のさまざまな取組みと連携し、区民の健康保持・増進を促すとともに、関係団体と協働し、運動習慣づくりや食生活の改善など、区民の自主的な健康づくりを進めるため、幅広い年齢層が参加できるイベントを開催する。
 - 健康まつりの開催
 - 食育フェスタの開催
 - 健康に関する講演会の開催
 - ウォーキング教室の開催
 - ウォーキングカレンダーの発行
- 健康づくりに役立つ情報発信に取り組む。
 - 「栄養・食生活」「運動」「**たばこ等**」に関する知識、情報について、がん検診・乳幼児健診など保健福祉事業での啓発の実施及び広報紙・ホームページ、フェイスブック、啓発チラシの配布（随時）

30年度 業績目標

「健康まつり」、「食育フェスタ」の参加者500人以上



健康展・食育フェスタ



ウォーキング講座

子育てとまなびを応援するまちづくり(子育て)

安心して子育てできる環境づくり

子育て支援の充実

- ・関係機関と連携した、子育て層が気軽につどい、交流できる場の提供
 - ・「愛LOVEこどもフェスタ」の開催
 - ・「つるみっ子ルーム」の運営
 - ・子育てサロン、つどいの広場等への支援
- ・子育てに不安感や負担感を持っている親子等に対する相談、支援の実施
 - ・子育て講演会の開催
 - ・子育てサロン等での保健師、保育士による育児相談等の実施
 - ・状況に応じた適切な支援、相談
- ・子育て関連情報の発信
 - ・子育てマップの作成
 - ・「愛LOVEこどもニュース」「すくすくカレンダー」等の発行
 - ・幼稚園・保育所等情報フェアの開催
 - ・フェイスブック、ツイッターを活用した子育て情報の発信



30年度 業績目標

- ・子育て支援事業の利用者で当該事業が役に立ったと答えた人の割合:70%以上
- ・子育て世帯で、子育てに関する相談窓口を知っている区民の割合:80%以上
- ・子育て世帯で、子育てに関する必要な情報が入手できていると感じている区民の割合:70%以上



幼稚園・保育所等情報フェア

子育てとまなびを応援するまちづくり(まなび)

社会教育の支援

生涯学習

- 生涯学習大阪計画に基づき、主体的に生涯学習活動に取り組む区民を増やす。
- 生涯学習一日体験 学び舎つるみ 開催
- 生涯学習セミナー 開催
- おもてなし茶会 開催
- 家庭教育支援講座 実施

人権教育

- 大阪市人権啓発教育・啓発計画に基づき、人権教育・人権啓発の取組みを実施し、区民の人権意識の向上を図る。
- 「人権に関するイベント」を開催
- 「校下別人権学習会」を実施
- 「街頭啓発」を実施(人権啓発推進員との協働)

環境をキーワードにした取組みの推進

- 関係局や企業等と連携しながら、身近な生活の中で実践できるエコ活動に関心を持つ機会を創出する。
- 環境フェスタの開催
- 環境学習講座の開催



人権に関するイベント
(人権ヒューマンコンサート)

30年度 業績目標

【生涯学習】

各事業において、定員の70%以上の参加をめざす。

生涯学習の取組みへの参加者のうち、「取組みを通じて新たな出会いや気づきがあった」と答える区民の割合:70%以上

【人権教育】

各事業において、定員の70%以上の参加をめざす。

【環境をキーワードにした取組みの推進】
事業への参加者数が想定人数の70%以上

子育てとまなびを応援するまちづくり(まなび)

学校教育の支援

学校教育支援の充実

- 学校、地域、保護者の教育に対するニーズを把握し、児童生徒のスムーズな学校生活と学力向上等の支援を行う。
- 教育連絡会の開催
- 学校協議会への参加
- 校長会・教頭会への参画
- 学校カルテの作成及び課題解決に向けた取組み
- 校長経営戦略予算を活用した小・中学校の支援
- サポーターを活用した小・中学校の支援



学校と社会を結ぶ

- 区内企業・経営者・スポーツ選手の方々の持つ知識や経験談を、区内の小学生に伝えてもらうため、マッチングを行う。
- 子ども「夢・未来」講座の開催

30年度 業績目標

【学校教育支援の充実】

- 全国学力・学習状況調査の平均正答率が全国平均を上回る。
- 区役所からの支援が学力向上につながったと思う校長・教頭の割合：70%以上

【学校と社会を結ぶ】

- 子ども「夢・未来」講座を通して、子ども達の興味・関心が高まったと回答した教師の割合：80%以上



汎愛高校「ダンス教室」

安全なまちづくり（防災）



災害に強いまちづくり

総合的な防災力の強化

- 地域の自主防災力強化のため、区民、地域と区役所、関係機関、学校等が連携しより実践的な訓練等を行う。
- 避難所開設運営訓練
- 安全・安心フェスタ
- つるみんピック
- 小学生、中学生や高校生を対象とした防災学習会の開催

30年度 業績目標

- 地域が行う訓練に参加し役立ったと答えた区民の割合80%以上
- 区が行うイベント（安全・安心フェスタ、つるみんピック）への参加者1,200人以上
- 各地域の訓練参加者 300人以上



つるみんピック



安全・安心フェスタ

安全なまちづくり（防犯・交通安全）



街頭犯罪・交通事故の少ないまちづくり

地域・関係機関と連携した防犯対策事業

- ・ 防犯カメラの設置
- ・ 防犯プレートの設置
- ・ 防犯推進委員会を中心に、各地域団体・関係機関が連携した区内一斉防犯活動の実施
- ・ 区役所・警察署・各地域防犯組織による合同連絡会の実施
- ・ 自転車2重ロックを推進するため鍵の取り付けキャンペーン
- ・ ひったくり防止キャンペーン

地域・関係機関と連携した交通安全対策事業

- ・ 交通事故防止や自転車マナーの向上をめざし、さまざまな啓発活動等を行う。
- ・ 子育て層への交通安全教室の実施
- ・ 高齢者への交通安全研修会の実施
- ・ 園児への交通安全教室の実施
- ・ 警察署、区内の学生と協働した自転車マナーアップキャンペーンの実施
- ・ スケアードストレート学習の実施

30年度 業績目標

【防犯】

- ・ 区で実施している防犯事業が鶴見区の犯罪抑止につながっていると答えた区民の割合：60%以上
- ・ 街頭犯罪件数 前年比△5%(部品ねらい 前年比△15% 自転車盗 前年比△5%)

【交通安全】

- ・ 交通事故発生件数における自転車事故の割合30%以下(発生件数△30件)
- ・ 区で実施している交通安全対策事業が鶴見区の交通マナー向上につながっていると答えた区民の割合：60%以上



区民への必要な情報発信



さまざまな媒体を活用した情報発信

広報紙の充実

- 広報紙の作成及び全世帯・全事業所への配布
- 広報紙の設置箇所の増設

30年度 業績目標

広報紙を手にとってよく読んでいる(年9号以上)と回答する区民の割合:60%

区の魅力の発信



30年度実施を 予定している催し

- トワイライトコンサート
- つる魅力検定
- 楽園会議企画イベント
- 鶴見緑地 コスプレDay
～つるコス～

区運営の基本的な考え方（区長の方針）

- だれもが住みなれた地域で安心して暮らせるよう、地域にかかわるすべての人が、共に生き、共に支え合い、共に生活を楽しむ地域社会の実現に向けて取組みを進める。
- 地域で子どもたちが健やかに育ち、安心して子育てできるまちの実現に向け、子育てとまなびを応援する。また、区民へ「まなびの場」が提供され、その成果が地域社会の活性化に生かされる社会をめざす。
- 災害に強いまちをめざし、区民一人ひとりの自助・共助の意識が高まるよう取組みを進める。また、安全なまちをめざし防犯、交通安全の取組みを進める。
- 区民が求める情報を確実にわかりやすく提供できるよう、広報紙、ホームページ、フェイスブック等さまざまな媒体を活用し、情報発信に取り組む。
- 行政財産目的外使用料及び広告料の諸収入の確保の取組みを推進する。